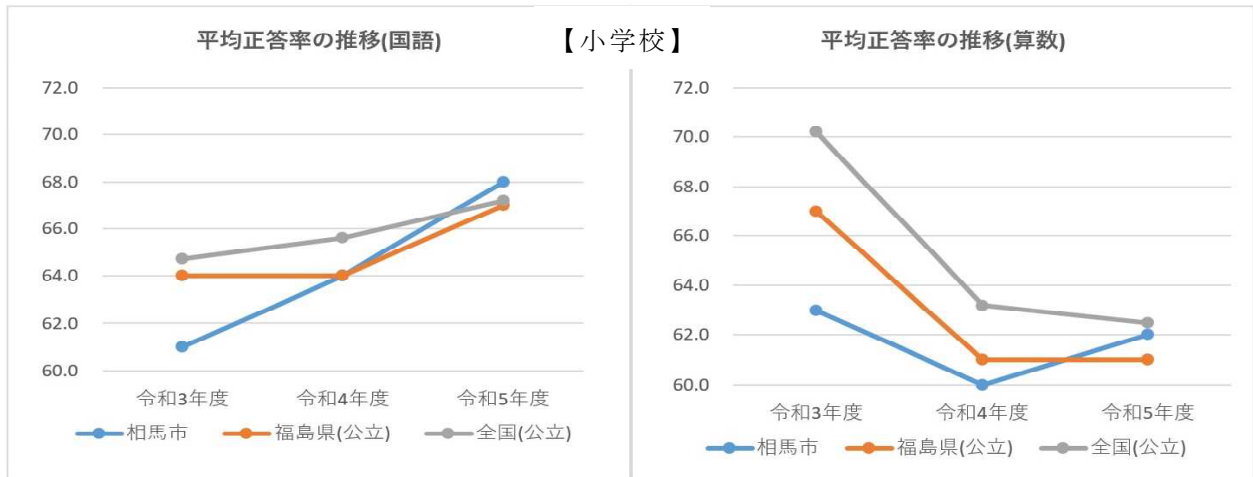


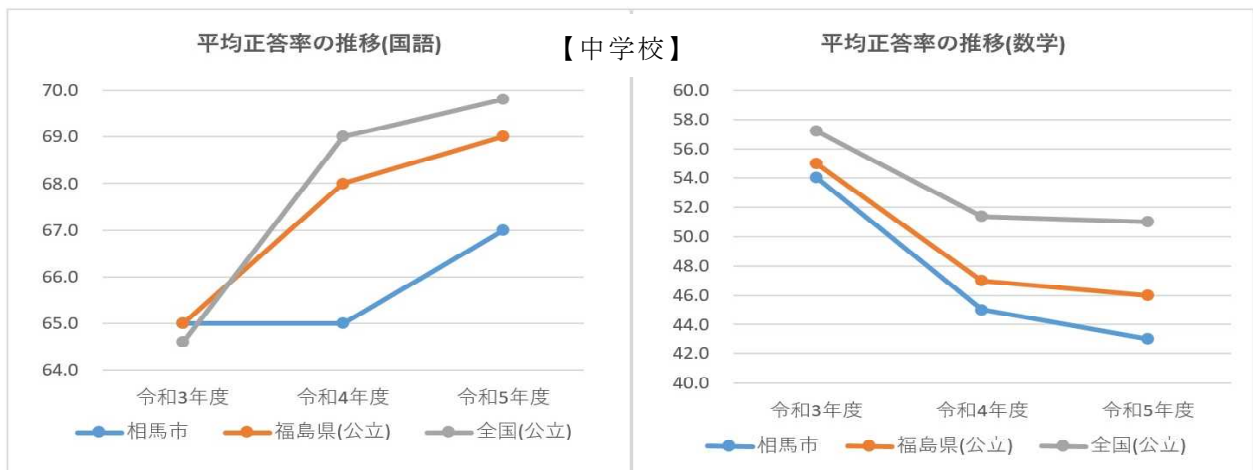
リーディングスキルテスト（RST）と全国学力・学習状況調査について

1 全国学力・学習状況調査結果について



考 察

- 国語も算数も昨年度より平均正答率が上昇しました。
- ・ 国語：本市の平均正答率が全国と県の平均正答率を上回りました。
- ・ 算数：全国平均が下降、県平均が横ばいとなる中、本市の平均正答率は上昇しました。



考 察

- ・ 国語：本市の平均正答率が全国平均と県平均を上回る上昇率となり、全国や県との差が縮まりました。
- ・ 数学：昨年度に引き続き、全国平均と県平均を下回り、全国や県との差が開きました。
- ・ 英語：前回（平成31年度）と比較し平均正答率は下降したものの、全国や県との差は縮まる結果となりました。

2 R S Tに係る令和6年度の取組について

「継続」と「安定」

をキーワードに・・・

☛ 「R Sの視点を基にした授業改善」を柱に取組を進めてまいります。

《R S Tの実施》

- 令和6年度もR S Tを以下のとおり実施いたします。
[受検対象者] ① 児童生徒〔小学校5・6年生、中学校1～3年生〕
② 教員〔相馬市内への人事異動者で未受検の教員〕
- [実施時期] ① 6月10日（月）～7月12日（金）

《授業改善に向けた主な取組》

～『相馬メソッド』の観点で授業に取り組む～

- 教師がR Sの視点で教科書を読む。 ○ 子どもが教科書をフル活用する。
- 教師と子どもでめあての確認をする。 ○ 教師の意図が伝わる表現をする。
- ノートに残る板書を構築する。 ○ 具体例生成や同義文生成の活動を取り入れる。
- 意図的にアウトプットの機会をつくる。 ○ 文の読み方を明示的に指導する。

- (1) 「照応解決」、「イメージ同定」、「具体例同定（理数）」に重点をおいた授業
- (2) ノートに残ることを意識した板書
- (3) 家庭での学習としての取組

《取組例1》 【5分間復習＋1分間予習】

《取組例2》 【R Sノート】…資料

- R S Tのフィードバックコメントを参考に、視写などに取り組む。

《推進中学校区での主な取組》

- (1) 令和6年度の推進中学校区

年 度	推進中学校区（研究推進校）
令和6年度	□向陽中学校区 〔向陽中、山上小、八幡小、中村一小、飯豊小、日立木小〕
令和7年度	
令和8年度	中村第二中学校区（中村二中、中村二小） 磯部中学校区（磯部中、磯部小）

- (2) 推進中学校区での取組

- ① 推進中学校区における公開授業研究会の開催
 - ・ 実施期日 令和6年2学期（小中別日開催）
 - ・ 会 場 校 【案】向陽中、八幡小（2校とも講師招聘）
- ② 推進地区小・中連携協議会の開催（年2回）
- ③ R S ノートの取組の共通実践

学習者における学びの改善(RSノート)

資料

RSTの5段階評価のコメントをノートに貼り、いつでも見ることができるようしておく

令和5年度RST結果

番号	問題種別	評価	評価解説
	係り受け解析 (DEP)	A	A 文の成り立ちをしっかりと理解しています。教科書をひたすら読んで、予習・復習する力があります。その力を毎日の学習、特に学習にいかします。事典やインターネット等で、興味のある事について深く調べ、視野を広げるのもよいでしょう。
	照応解決 (ANA)	A	A 文中の「それら」「これら」などの指示語や省略された主題や目的語が何を指しているか、しっかりと理解できています。その力を毎日の学習、特に学習にいかします。事典やインターネット等で、興味のある事について深く調べ、視野を広げるのもよいでしょう。
	同義文判定 (PARA)	A	A 文を言い換えるやり方がしっかりと身についています。その力を毎日の学習、特に学習にいかします。事典やインターネット等で、興味のある事について深く調べ、視野を広げるのもよいでしょう。
	推論 (INF)	A	A 論理的に考える力がしっかりと身についています。その力を毎日の学習、特に学習にいかします。教科書見開き2ページからどんなことが言えるか箇条書きにまとめるのもよい方法です。事典やインターネット等で興味のある事について調べ、視野を広げるのもよいでしょう。
	イメージ固定 (REP)	A	A 資料を読み取る力がしっかりと身についています。高学年になると教科書の見開き2ページに複数の資料が載っています。そこからどんなことが言えるか、また、本文の主張をどのように裏づけているかを考えながら読み解き、ノートにまとめることさらに理解が深まるでしょう。
	具体例同定 (INST)	A	A 新しい言葉を獲得する力がしっかりと身についています。辞書や理科に出てくる「一を〇〇という」の形の文(定義文)も正確に読めています。その力を毎日の学習、特に学習にいかします。事典やインターネット等で、興味のある事について深く調べ、視野を広げるのもよいでしょう。
	具体例同定(辞書) (INSTd)	A	A 新しい言葉を獲得する力がしっかりと身についています。辞書や理科に出てくる「一を〇〇という」の形の文(定義文)も正確に読めています。その力を毎日の学習、特に学習にいかします。事典やインターネット等で、興味のある事について深く調べ、視野を広げるのもよいでしょう。
	具体例同定(用語) (INSTm)	B	B 新しい言葉を獲得する基本的な力があります。教科書の「一を〇〇という」(例:四でわり切れる整数を偶数という)の形の文(定義文)を読んだら、当てはまる例を3つ、当てはまらない例を1つ考え、そのわけを説明しましょう。また、辞書やインターネット等で言葉の意味や使い方(用例)調べ、積極的に使ってみましょう。

「係り受け」—— 語句の間にある「修飾する」「修飾される」関係の理解
「照応」—— 指示語や省略された主題が何を指しているかの理解
「同義判定」—— 二つの文が同じ意味かどうかの判定
「推論」—— 論理や常識を使って文章を読み解けるか、文章で書かれていない部分(省略されている部分)を理解できているか
「イメージ」—— 文章と図表が対応しているか
「具体例」—— 定義と具体例が対応しているか

日付、RSTの問題タイプ、取り組んだ内容を書く。

9月28日(木) 照応解決
社会P65 視写→「こうした時代
室町幕府がおとろえると、戦国
大名とよばれる各地の武将が、自
分の支配する土地を守るための城
をつくり、勢力を争う戦国の世と
なりました。戦いは各地でくり広
げられ、こうした時代は100年ほど
続きました。その後、天下統一に
向けて大きな力を発揮したのは、
長條の戦いに勝利した織田信長と
豊臣秀吉でした。
「こうした」は前になる。

学習者における学びの改善(RSノート)

12-26 火 照応解決 国語P.97

次らてりたけぴをな
々、いでめまきおれは
とたきすにしのきたじ
出くま。たあま所め
てさしあ外りしにに
きんたりにこがた、
まの。は出れ、ひあ
しはす、てはそしとり
た。たるとがい、のばつの
そ、2024/01/16 巣の、えきうま巢
して、巣の中、はさとくみか
列、か帰、たさうすのら少
あすつーうは

12-25 月 係受け解析 国語P.124

ねすでるた 立が や
上るつ。実秋 つモい
げ。いそをにてけチ、
てこてのいないたモ木
、な、実つるる名チ
ふに石をぱとで前の
かしう、い、だ木
したすじふ茶か。っ
てやでさり色い小て
食つひま落いで屋の
でをいがとぴ、のは
るもて、しかかすな、
とちこ木てびいぐ
、になうか木前豆
ほこにすれ光だに太